

2020年度文系チャレンジ講座（第8回）を実施しました

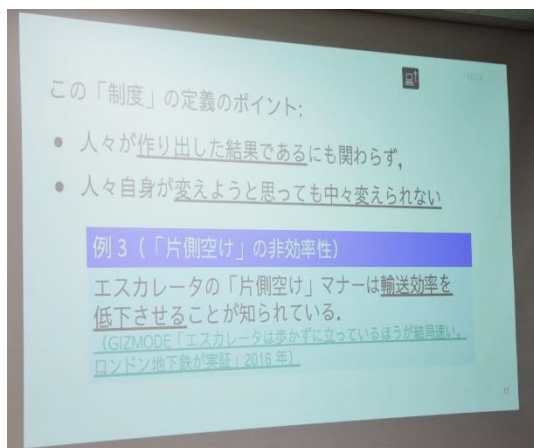
1月27日（水）に経済学部金子 創先生を講師に迎え、「制度とは何か？」というテーマで、文系チャレンジ講座の第8回を実施しました。遠隔配信した国東、大分商業、臼杵、大分雄城台、竹田、安心院、大分鶴崎、中津南の9校147名が受講しました。

先生ははじめに「買い占め」を戒めた海外のあるスーパーの貼り紙を見せ、買い占めがどの国でも起こりうることで説明し、「賢い」人たちの中ではこのような買い占め行為は起こらないのかという疑問を提示されました。「多くの人は外部情報に基づき意思決定をしている」



という前提のもと、「人々に規則的な行動を促す外部環境はあるか？」と問いかけました。そして、今回のテーマでもある「制度とは何か？」について、「人々が作り出している非物質的で、しかし個々人が好き勝手には変えにくい要素」という、グライフの定義を示されました。

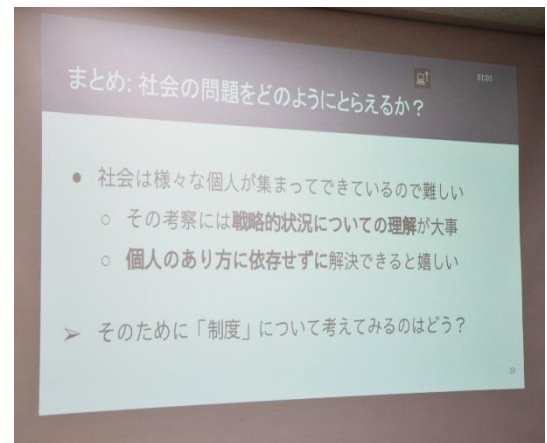
その後、人々の意志決定の予測に必要な三つの要素「客観的予想」「主観的予想」「戦略的状況」を紹介。最初に挙げたマスクの買い占めなど、多くの社会問題はもっとも複雑な「戦略的状況」と切り離せないため、個人の行動に働きかけて社会問



題を解決することは難しいと説明されました。

最後に、様々な人が集まっている社会の問題を解決するには、自分が他者の行動を予想し、他者も自分の行動を予想する「戦略的状況」を理解することが大切であるとまとめられました。

講義後のアンケート調査では、「総合的に判断して授業がよかった」（100％「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計。以下同じ）、「教員は真剣に取り組んでいた」



（100％）、「受講生は授業に意欲的に取り組んでいた」（98％）という結果でした。遠隔配信については、「音声はよく聞こえた」（95％）、「映像はよく見えた」（94％）という結果が出ました。受講生からは「各校の生徒に意見を求めてくれたので、全員で一つの授業を作り出している感じがよかった」「経済学とは異なる感じのする心理学的な要素の話があって興味が湧いた」「わかりやすかった」といった感想が寄せられました。